

『成長の実感』が溢れる東京研修

先々週の1年生各務原研修、先週の2年生日間賀島研修を無事に終え、5月24日(水)～26日(金)の3日間、北中学校として今年度の宿泊研修の締めを飾る3年生が東京研修に行ってきました。

何より有難かったことは、3日間とも天気にも恵まれたことです。ディズニーランドの夜は、かなり寒さを感じましたが、体調を崩す者がおらず安心しました。さらには、様々な活動の中で、体調不良を訴える者も少数いましたが、その活動の一場面だけで治まり、その後の活動には元気に復帰することができていたことも、有難かったことです。

もう一つ、東京に行って実感したことがあります。それは、人の多さです。昨年度の修学旅行時と比べても比ではありません。駅から溢れ出て信号待ちをする通勤客の長蛇の列、浅草仲見世通りのごった返す観光客、宿泊するホテルでの外国人観光客の多さ等、コロナ禍前の日常に急速に戻っていると感じさせられる場面が数多くありました。また、出会う外国人の方の98%超はマスクの着用はありませんでした。一方、地下鉄内の一車両中の日本の方のマスク着用の割合は40%程度で、半数を超える人にマスク着用はありませんでした。自己判断であるため、何も言うことはありませんが、マスクをする側、マスクをしない側、マスクをせざるを得ない側・・・等、いろいろな立場の人の考えを傾聴し、尊重することが大切であると思います。

さて、話が少々横道に逸れましたが、3年生は、この東京研修を通して、東京ならではのもの、この研修だからこそ体験できたこと、研修を通して感じた仲間やクラスの新たな一面などから、いろいろと想いを巡らせたり、素晴らしさや有難さ、楽しさ等、いろいろなことを実感したりしたと思います。

私も、集団や個の切り替えの早さ、明るさ・元気の良さ、仲間(相手)のことを想う姿、けじめ等、素晴らしい姿、誇れる姿にたくさん出会いました。

今回の東京研修を通しての『成長の実感』を、日常と繋げたり、生かそうとしたりすることができれば、きっと日常の中でも『成長を実感する』ことができるはずです

